

奈良の魅力を全国へ

奈良県は歴史だけじゃない。奈良の魅力をもっと全国の人に知ってもらおうと、県ではさまざまなPR活動を行っています。今回は、知事自ら東京で、PRを行いました。

第5回

企業立地セミナー 11/21



奈良県での新事業展開を呼びかける荒井知事

パークハイアット東京で、雇用の増加などの産業育成につなげるために、5回目となる企業立地セミナーを行いました。京奈和自動車道やリニア中央新幹線など、これからますます交通の便がよくなる奈良の魅力を、知事によるプレゼンテーションや大和郡山市に本社をおく、クリカプラス株式会社専務執行役員(日本総括)の河村隆幸さんとの対談などを通じて、首都圏の企業関係者約120人にPRしました。また、セミナーの最後には、知事と参加者が直接意見交換を行いました。

県企業立地推進課

☎ 0742-27-8872 FAX 0742-27-4473

初

奈良の木フェア 11/22・23

東京デザインセンターで、奈良県産材の販路を拡大するために、県産材の活用事例紹介や知事によるプレゼンテーションなどを行いました。首都圏の大手企業や有名建築デザイナー約60人に、大切に育てられた高品質の「奈良の木」の魅力をPRし、県産材についての意見交換を行いました。また、県内木材関係事業者が展出ブースで、来場者約260人に製品の説明や商談などを行いました。

県奈良の木ブランド課

☎ 0742-27-7470 FAX 0742-27-1070

奈良の木の魅力を伝える荒井知事



商談会のようす

初

新宿高島屋 奈良フェア 11/22~24



奈良フェアのようす



店頭でPRする荒井知事



意見交換会のようす

新宿高島屋で大和野菜など旬の県産農産物の販売PRを行いました。首都圏の百貨店では初めての開催で、知事とせんとくんが応援に駆けつけ大和まなや柿の試食など、奈良の農産物の魅力をお客様に直接PRしました。また、高島屋の関係者と農産物などの販路拡大に向けた今後の連携について意見交換を行いました。

県マーケティング課

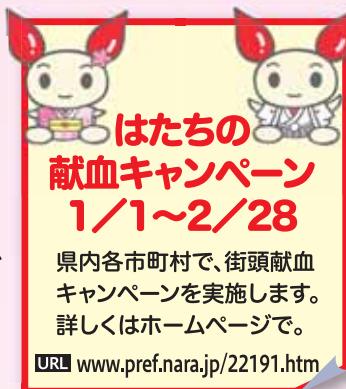
☎ 0742-27-5427 FAX 0742-26-6211

広げよう、献血の輪!

～あなたの献血が、貴い命を救います～

血液は、まだ人工的に創ることができません。長期間保存することもできません。輸血に必要な血液を、いつでも十分に確保しておくためには、絶えず誰かの血液が必要となります。

冬場は特に血液が不足します。一人でも多くの人、特に若い世代の人たちのご協力をお願いします。



Q 献血の流れと、献血にかかる時間を教えてください。

献血の流れは以下のとおりです。約45分で終了します。



Q 献血できない場合がありますか?

患者さんに安全な血液をお届けするために、採血基準(年齢・体重等)のほかに、献血できない場合があります。以下に該当する人は献血をご遠慮ください。

- ・3日以内に薬を服用、使用した(薬の種類によっては献血にご協力いただける場合があります)。
- ・3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けた。
- ・予防接種を受けた(インフルエンザ等は接種後24時間、風疹等は接種後4週間は献血できません)。
- ・1か月以内に、ピアスをあけた(唇、口の中、鼻にピアスをしている人は、期間にかかわらず献血できません)。
- ・4週間以内に、海外から帰国(入国)した。

※上記に該当しない人でも、問診医の判断で献血をお断りすることがあります。

Q 献血をすると、自分の体のことが分かるって本当?

希望者には、血液検査の結果をお知らせしています。自分の体の健康状態を把握できますので、病気の早期発見などにも役立っています。

献血ができる場所

- 奈良県赤十字血液センター 時毎週火・木・金・日曜／9~17時 団大和郡山市筒井町600-1
- 近鉄奈良駅ビル献血ルーム 時毎日／10~18時 団奈良市東向中町28 奈良近鉄ビル6階
- その他 献血バス、イオンモール橿原・郡山などでも受けられます。

奈良県保育士等実態調査の結果をお知らせします

待機児童を解消するため、全国的に保育所の整備が進められていることに伴い、県内でも保育士不足が課題となっています。県では今年度、県内の保育所や保育士資格をお持ちの方を対象に、保育士の雇用や就労についての実態調査を行いました。



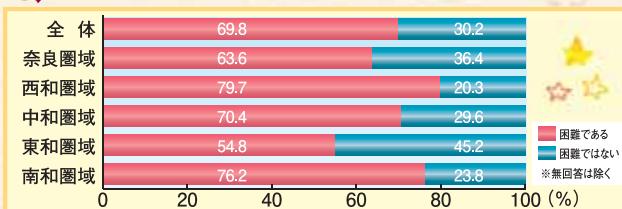
保育士として働く中で感じるやりがいは「子どもの育ちに関わることができた」が最多

Q あなたが保育士として働いてこられた中で感じるやりがいは? (複数回答)



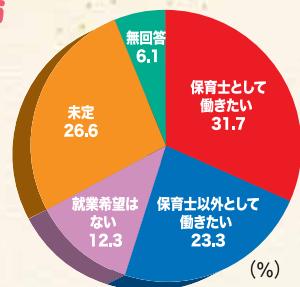
7割の保育施設が保育士の確保が「困難である」と回答

Q 現在、保育士の採用に困難を感じていますか?



潜在保育士の3分の1が保育士として勤務することを希望

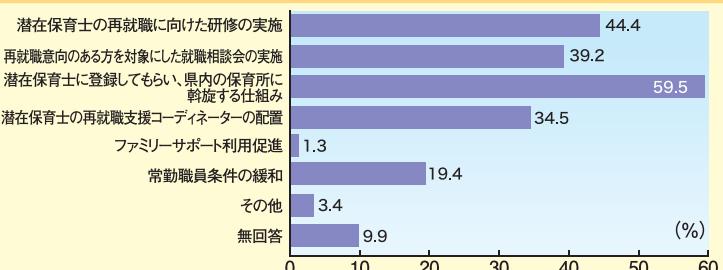
Q 今後の就労希望は?



※潜在保育士…
保育士の資格を持ちながら、現在保育士として勤務されていない人

保育士の雇用に関して求める支援は「潜在保育士の登録・斡旋の仕組み」が最多

Q 今後、保育士の雇用に関する支援でどのようなものを求めますか?



★保育士確保対策★

県では、調査結果や知事と県内保育関係者との意見交換の場として設置した保育懇話会での意見を踏まえ、保育士確保対策について具体的に検討を進めています。

保育士確保のための基本的な考え方

- 現任保育士の定着を促進します。
- 潜在保育士の就職を支援します。
- 新規の保育士就業者を増やします。

上記とあわせ保育士のワーク・ライフ・バランス等の推進についても検討していきます。

県子育て支援課 ☎0742-27-8604 FAX 0742-27-2023

★奈良県こども・子育て支援推進会議★



第2回推進会議のようす(昨年11月27日)

県では昨年7月に推進会議を設置し、保育士確保に関することも含め、子ども・子育て支援について、さまざまな立場や観点から審議しています。